

平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年4月25日

上場取引所 東

上場会社名 B-R サーティワン アイスクリーム株式会社

コード番号 2268 URL <http://www.31ice.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 裕明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 兼 経営企画室長 (氏名) 門田 浩

TEL 03-3449-0331

四半期報告書提出予定日 平成26年5月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の業績(平成26年1月1日～平成26年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	3,717	△1.2	116	△25.8	135	△20.6	82	△9.8
25年12月期第1四半期	3,763	3.2	157	△18.1	170	△15.9	91	△18.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	8.54	—
25年12月期第1四半期	9.47	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	15,165		10,888			71.8
25年12月期	15,787		11,224			71.1

(参考)自己資本 26年12月期第1四半期 10,888百万円 25年12月期 11,224百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	40.00	—	40.00	80.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,500	1.8	410	△2.7	450	△2.8	240	△2.2	24.91
通期	21,000	2.3	2,010	2.3	2,100	2.3	1,160	2.7	120.38

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期1Q	9,644,554 株	25年12月期	9,644,554 株
26年12月期1Q	8,561 株	25年12月期	8,561 株
26年12月期1Q	9,635,993 株	25年12月期1Q	9,635,993 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(平成26年1月～3月)における我が国経済は、円安効果による輸出環境の改善や経済政策の効果により景気は緩やかな回復を続け、個人消費も底堅く推移いたしました。しかし、震災以降の消費行動の変化による外食市場の縮小と中食増加など、お客様の消費選別がますます進展いたしました。その影響により外食業界では業態を超えた競争が激化し、ファストフードにおいても厳しい状況が続いております。

このような環境の下、当社ではサーティワンアイスクリームの永遠の経営モットーであります“*We make people happy.*”「アイスクリームを通じて人々に幸せを。」をスローガンに、全てのお客様に高品質で美味しいアイスクリームと“FUN(楽しいこと、嬉しいこと、感動すること)”に満ちたひとときを提供し、日本で最も愛され親しまれるチェーンとなることを目指すとともに、企業の継続的成長の維持と、企業価値の増大に努めてまいりました。

営業面においては、1月はアイスクリームの詰め合せ商品であるバラエティパック、ギフトボックスをお買い上げのお客様に、‘スヌーピー’スクエアディッシュをプレゼントするニューイヤープロモーション(1月1日～1月13日)を実施し、フレーバーのバラエティさ・楽しさを訴え、高単価商品の拡販とヘビーユーザーの再来店を促進いたしました。

引き続き冬場のテイクアウト商品として、テイクアウト用保冷バッグやアイスクリームのパッケージも全て‘ミッキー&ミニ’のデザインとした期間限定の新商品「‘ミッキー&ミニ’Love♥Loveバッグセット」(1月14日～3月14日)を販売し、お客様の購買意欲を高めました。

また、通年商品として“NEW ‘ミッキー&フレンズ’アイスクリームパーティーセット”を新発売し、テイクアウト商品ラインナップの強化を図っております。

3月の「ひなまつり」(2月15日～3月3日)では、“ひなだんかざり”、“おひなさまカップ”、ひなまつり仕様のアイスクリームケーキなど期間限定商品を販売いたしました。更に2月28日までに“ひなまつりアイスクリームケーキ”をご予約いただいたお客様に「キッズクーポン券」プレゼントを実施しオカージュン商戦の売上を確保いたしました。

3月4日からは、4年目になります「ワンダフルイースター」(3月4日～3月30日)を実施いたしました。イースターらしいタマゴをモチーフにした“エッグカップサンデー”に新商品“ダブルエッグカップサンデー”を加え、持帰り商品の“イースターバラエティBOX”、イースターに因んだアイスクリーム2種類(ヨーグピーチファン、イースターエッグハント)を販売し、3月の売上増を図りました。

なお、昨年12月26日から4月24日の期間は、苺の美味しさをたっぷり味わえる“フレッシュストロベリーサンデー”を販売し、アイスクリーム専門店サーティワンならではのシーズンサンデーを提供することによりブランドの差別化を図っております。

店舗開発の状況といたしましては、2014年から新しい店舗デザイン「Happy1.0」を導入し、店舗イメージ刷新を図っております。

新しい店舗は当期7店開設し、当第1四半期末の店舗数は1,156店舗と前第1四半期末に対して44店舗増加いたしました。改装は当期17店実施し、既存店へも新しい店舗デザインの導入促進をいたしました。

以上のような商品やキャンペーンの強化による来店促進を図り売上増進に取り組んでまいりましたが、2月において2度にわたる週末の記録的大雪が大きく影響し、当第1四半期の売上高は37億17百万円(前年同期比1.2%減)となりました。

売上原価は、円安による輸入原材料高騰及び国内乳原料価格上昇により14億96百万円(前年同期比2.4%増)となりました。

販売費及び一般管理費は、21億4百万円(前年同期比1.9%減)となりました。これは主に、業容拡大のための販売促進費が増加(17百万円)しましたが、広告宣伝費の削減(42百万円)、管理徹底による店舗対策費の削減(11百万円)、物量減による配送・倉庫費の減少(9百万円)があったためです。

以上の結果、営業利益は1億16百万円(前年同期比25.8%減)、経常利益は1億35百万円(前年同期比20.6%減)、四半期純利益は82百万円(前年同期比9.8%減)となりました。

なお、当社はアイスクリーム製品の製造及び販売等を行う単一セグメントのため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末における総資産は前事業年度末に比べ6億21百万円減少の151億65百万円となりました。これは主に、有形固定資産に富士小山工場の一部生産設備を更新したことによる機械及び装置の増加がありました。流動資産で12月と3月の売上ボリュームの差等による売掛金の減少がそれを上回り、総資産は減少いたしました。

負債は前事業年度末に比べ2億85百万円減少の42億77百万円となりました。これは主に、流動負債でショッピングセンター内店舗の売上金が当社を経由して加盟店に支払われるため、一時的に発生する預り金の増加がありました。販売奨励金の支払いによる未払金の減少と、法人税等の支払による未払法人税等の減少がそれを上回ったため負債総額は減少いたしました。

純資産は前事業年度末に比べ3億36百万円減少の108億88百万円となりました。これは剰余金の配当額が四半期純利益を上回り、繰越利益剰余金が減少したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年2月6日に公表いたしました「平成25年12月期 決算短信(非連結)」の業績予想より変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当事業年度の予想税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前当期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,004,401	3,121,822
売掛金	3,038,750	2,146,533
製品	812,510	812,297
原材料	429,030	520,141
貯蔵品	219,270	151,211
前渡金	18,211	50,107
前払費用	163,466	209,893
繰延税金資産	29,350	48,501
未収入金	19,324	28,631
その他	124,884	71,803
貸倒引当金	△536	△505
流動資産合計	7,858,665	7,160,439
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,943,052	1,943,052
減価償却累計額	△1,174,806	△1,187,146
建物(純額)	768,245	755,905
構築物	300,783	320,783
減価償却累計額	△141,638	△144,564
構築物(純額)	159,145	176,218
機械及び装置	2,114,769	2,243,125
減価償却累計額	△1,714,148	△1,712,472
機械及び装置(純額)	400,621	530,652
賃貸店舗用設備	3,402,492	3,425,288
減価償却累計額	△1,752,674	△1,814,465
賃貸店舗用設備(純額)	1,649,818	1,610,822
直営店舗用設備	443,977	415,617
減価償却累計額	△165,160	△161,264
直営店舗用設備(純額)	278,816	254,352
車両運搬具	66,845	68,911
減価償却累計額	△32,148	△34,103
車両運搬具(純額)	34,697	34,808
工具、器具及び備品	695,400	706,621
減価償却累計額	△590,628	△602,242
工具、器具及び備品(純額)	104,772	104,378
土地	695,362	695,362
建設仮勘定	476,749	510,091
有形固定資産合計	4,568,229	4,672,593
無形固定資産		
ソフトウェア	106,508	103,999
電話加入権	17,065	17,065
無形固定資産合計	123,573	121,065

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年3月31日)
投資その他の資産		
投資有価証券	45,438	43,462
長期貸付金	3,401	3,094
従業員に対する長期貸付金	9,208	8,998
破産更生債権等	153,824	144,275
長期前払費用	616,176	564,753
繰延税金資産	121,981	122,900
敷金及び保証金	2,314,159	2,337,769
その他	19,685	19,685
貸倒引当金	△47,277	△33,655
投資その他の資産合計	3,236,597	3,211,284
固定資産合計	7,928,400	8,004,943
資産合計	15,787,066	15,165,383

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	495,992	516,039
未払金	1,308,343	965,877
未払費用	29,623	34,517
未払法人税等	209,760	51,825
未払消費税等	29,091	-
前受金	823,553	703,066
預り金	131,830	400,384
賞与引当金	30,296	101,253
役員賞与引当金	4,000	1,000
ギフト券回収損失引当金	2,032	188
その他	38,460	20,493
流動負債合計	3,102,983	2,794,644
固定負債		
退職給付引当金	169,484	173,566
役員退職慰労引当金	58,100	61,601
資産除去債務	84,023	84,245
長期預り保証金	1,148,075	1,162,956
固定負債合計	1,459,683	1,482,368
負債合計	4,562,667	4,277,012
純資産の部		
株主資本		
資本金	735,286	735,286
資本剰余金		
資本準備金	241,079	241,079
資本剰余金合計	241,079	241,079
利益剰余金		
利益準備金	168,676	168,676
その他利益剰余金		
別途積立金	4,140,000	4,140,000
繰越利益剰余金	5,905,910	5,602,774
利益剰余金合計	10,214,587	9,911,450
自己株式	△16,893	△16,893
株主資本合計	11,174,059	10,870,922
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,852	7,193
繰延ヘッジ損益	41,487	10,254
評価・換算差額等合計	50,340	17,448
純資産合計	11,224,399	10,888,370
負債純資産合計	15,787,066	15,165,383

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	3,763,146	3,717,272
売上原価	1,461,220	1,496,250
売上総利益	2,301,926	2,221,022
販売費及び一般管理費	2,144,222	2,104,056
営業利益	157,703	116,965
営業外収益		
受取利息	82	119
店舗用什器売却益	16,855	14,541
為替差益	4	5,615
その他	1,524	639
営業外収益合計	18,466	20,916
営業外費用		
店舗設備除去損	5,166	2,171
その他	554	325
営業外費用合計	5,720	2,497
経常利益	170,450	135,384
特別損失		
固定資産売却損	-	248
固定資産廃棄損	12,898	6,857
特別損失合計	12,898	7,105
税引前四半期純利益	157,551	128,279
法人税等	66,264	45,975
四半期純利益	91,287	82,303

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。